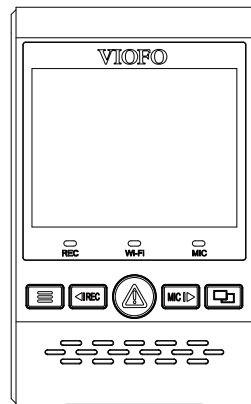


VIOFO

A129 Pro Duo

取扱説明書



ユーザーマニュアルは下記でダウンロードできます。

<https://viofo.jp/support/>

著作権はViofo Ltdにのみ提供されています。

目次

製品の概要	2
梱包内容	
別売りオプション	
各部の名称	
microSDカードの抜き差しについて	
LEDランプ	
ボタン機能の説明	
取り付け方法	9
本機を取付ける	
リヤカメラを取り付ける	
電源ケーブルとリアケーブルの接続	
操作	14
電源オン/オフ	
ループ録画	
衝撃録画	
ビデオ再生	
動体検知	
コンピュータに接続する	
テレビでビデオを再生する	
PIPモード	
ファームウェアを更新	
システム設定	19
スマートフォンとのプレビューと操作	23
Bluetoothリモコン	24
注意	25
カスタマーサービス	26

製品の概要

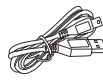
■ 梱包内容



本機



USBカーチャージャー



USB電源ケーブル(4m)



カードリーダーアダプター



USBケーブル



3M両面テープ



クリップ



トリム除去ツール

*注意：このUSBケーブルは、ビデオファイルの転送やファームウェアの更新のみ使用され、カーチャージャーケーブルとしては使用できません。

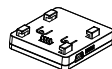
■ 別売りオプション



リヤカメラ



赤外線内装カメラ

GPSモジュール
(マウントベース)リヤカメラ
ケーブルBluetooth
リモコン

偏光フィルター

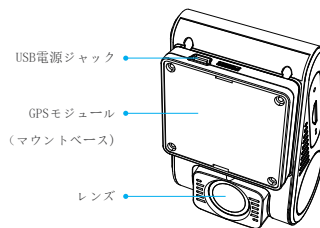
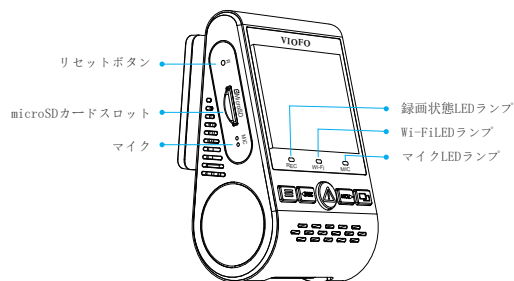
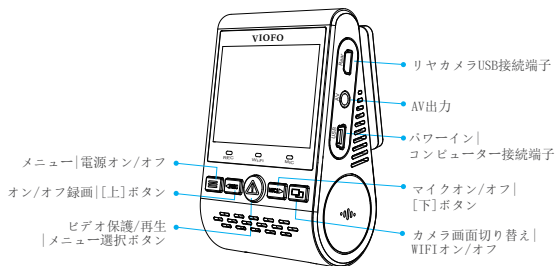


降圧ケーブル

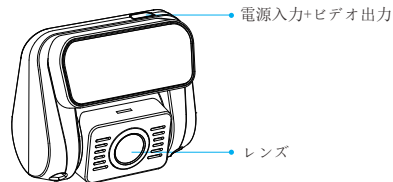
*注意：ユーザーは、フロントカメラと接続するためにリアカメラまたは内装カメラを選択することができます。

■ 各部の名称

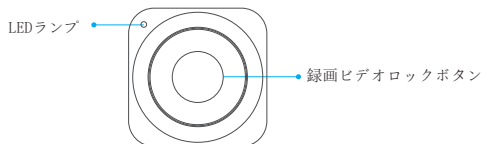
1) フロントカメラ



2) リアカメラ



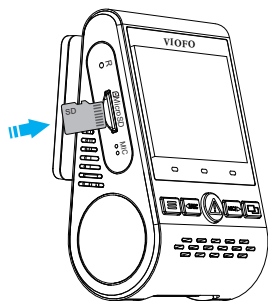
3) Bluetoothリモートコントロール (オプション)



■ microSDカードの抜き差しについて

microSDカードの挿入

microSDカードの金色の端子が本機のモニター側に向くようにし、カチッと音がするまで挿入してください。



microSDカードの抜き差し

microSDカードの抜き差しは、本機の電源が切れていること（全てのLEDが消灯）を確認して行ってください。本機が動作中にmicroSDカードの抜き差しを行うと、microSDカードが破損する恐れがあります。microSDカードを押し込むと、カードがスロットから外れて出てきます。

注意:

1. 本機の電源がオンになっている時は、microSDカードの取り外しまたは挿入をしないでください。
2. 初めて使用する時micro SDカードをフォーマットしてください。
3. microSDカードは別売りで、UHS-I U1/U3 以上のmicroSDカードをお勧めします。最大256GBをサポートします。弊社の公式サイトでご購入できます。

カードをフォーマット

初めて使用する時micro SDカードを必ずフォーマットしてください。

メニューボタンからシステム設定 -> フォーマットオプションを選択してください。microSDカードは定期的にフォーマットを行ってください。フォーマット前に重要なファイルをコピーしてください。

■ LEDランプ

LED	LED状態	操作
REC	赤く点灯	録画中
	赤く点滅	スタンバイ; ファームウェアを更新
Wi-Fi	赤く点灯	Wi-Fiオン
	オフ	Wi-Fiオフ
MIC	赤く点灯	マイクオン
	オフ	マイクオフ

■ ボタン機能の説明

モード	ボタン	操作
スタンバイ モード		メニュー表示
		録画を開始
		プレイリスト表示
		マイクをオン/オフにする
		長押しWi-Fiをオンにする

モード	ボタン	操作
再生ビデオ モード		前のデータへ戻る/再生を停止する
		[上]ボタン/再生速度の変更/ビデオの削除
		現在のビデオを選択/再生/一時停止
		次のファイルを選択/再生速度を変更/ 現在のビデオをロック/現在ビデオの ロックを解除
		N / A

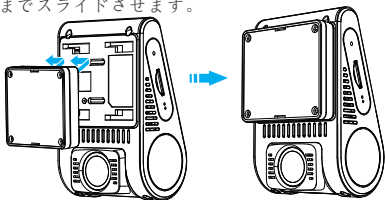
モード	ボタン	操作
録画モード		ビデオスナップショットを撮影できます。 注意: メニュー設定する前に録画をオフしてください。
		録画を停止
		録画中ファイルをロックする
		マイクをオン/オフにする
		画面表示の切り替え

モード	ボタン	操作
システム 設定		前のデータへ戻る/メニュー設定終了
		[上]ボタン
		選択
		[下]ボタン
		N / A

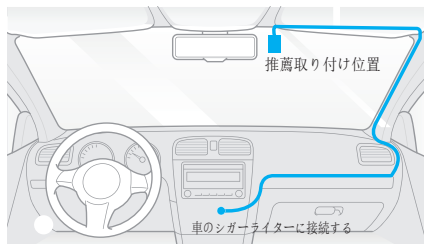
本機の取り付け

■ フロントカメラを取り付ける（本機）

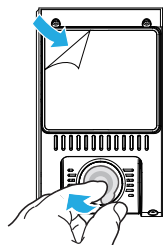
- 1) GPSモジュール（マウントベース）をマウンティングレールに合わせてスライドさせます。カチッという音が聞こえるまでスライドさせます。



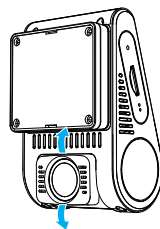
- 2) バックミラーのフロントガラスの後ろ側の位置を選択します



- 3) 予めフロントガラスの汚れ、脂分をよく落としてください。
- 4) マウントベースのフィルムをはがして、レンズから保護シールをはがします。

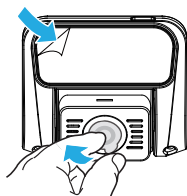


- 5) 本機を選択された位置に取り付け、レンズ角度を調整します。



■ リアカメラの取り付け

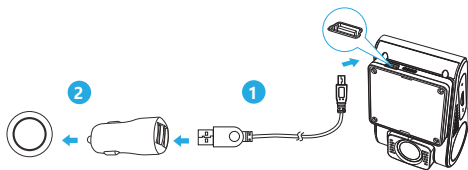
- 1) 設置場所を選択
- 2) 予めリアガラスの汚れ、脂分をよく落としてください。



- 3) レンズから保護シールをはがします。
- 4) マウントベースのフィルムをはがして、リアカメラを任意の位置に固定します。

■ 電源ケーブルとリアケーブルの接続

1) 電源接続



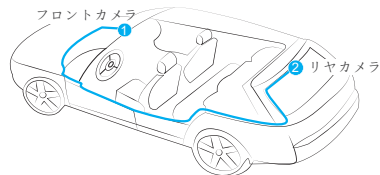
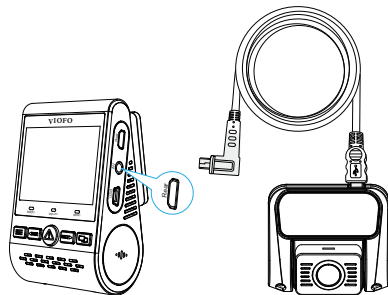
車両の12 V/24 VソケットにUSB電源アダプタを差し込みます。
USBケーブルのプラグをカメラのUSB端子に差し込みます。

注意:

GPSモジュールと非GPSモジュールは、電力供給のために使用できません。

2) リヤカメラ取付方法

本機接続端子にリヤカメラのカメラケーブルを接続します。
ケーブルは運転の妨げにならないように配線します。クリップを使用すると、リアケーブルをしっかりと固定できます。



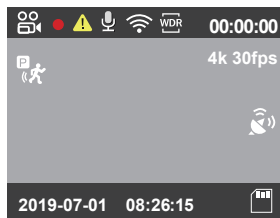
ヒント

1. 運転者の視界を妨げたり、運転の安全性を妨げたりする場所にカメラを設置しないでください。
2. 録画を見やすくするために、バックミラーの近くにレコーダーを取り付けます。
3. 雨天時にははっきりと見えるように、フロントガラス用ワイパーの可動範囲に製品を取り付けてください。
4. レコーダーをエアバッグパネルの上または近くに設置しないでください。
5. 車両のリアガラスにサンシェードが取り付けられている場合は、サンシェードの使用によってレコーダーが影響を受けない位置を選択する必要があります。

警告:

カメラやケーブルをエアバッグパネルの近くやエアバッグの動作範囲内に取り付けしないでください。製造者は、エアバッグの展開によって引き起こされたいかなる怪我または死亡に対しても責任を負いません。


画面アイコンの説明



-  録画モード
-  00:00:00 録画時間
-  4k 30fps ビデオ解像度
-  録画中
-  緊急ロック
-  マイク
-  Wi-Fi
-  WDR
-  GPS
-  駐車モード記録
-  microSDカード

機能紹介

■ 電源オン/オフ

1. 本機が電源に接続されて車が始動すると、レコーダーは自動的にオンになり、録画を開始します。
2. エンジンやエンジンを切ったり、車の電源を切ったりすると、レコーダーは録画を停止してオフになります。
3. [] ボタンを長押しして、本機の電源をオンまたはオフにします。

■ ループ録画


1. micro SDカードが挿入されたレコーダーが電源に接続されると、ループ録画が自動的に開始されます。
2. 録画時間(ファイル生成時間)を「1/2/3/5/10」分から選択できます。
3. SDカードの容量がいっぱいになると、古いファイルから上書きされていくので、途中で録画が停止することはありません。
4. ループ録画ファイルはSDカードに保存されます。 \ DCIM \ MOVIE フォルダ

■ 緊急録画

1. 自動緊急録画

録画中に衝撃を感知すると、自動で録画しているファイルをロックします。ロックされたファイルは上書きされません。






2. 手動緊急録画

録画中に [] ボタンを押すと、現在録画中のファイルがロックされます。ロックされると、ファイルは上書きされません。

注意:

衝撃感度はシステム設定 -> 「衝撃感度」オプションで調整できます。ロックされたファイルはSDカードに保存されます:
DCIM \ Movie \ R0。锁定的文件保存到SD卡: DCIM \ Movie

■ 再生ビデオ

1. スタンバイモード（録画されていない状態）で、[] ボタンを押してプレイリストに入ります。
2. 矢印キー [ IREC MIC ] を使って希望のビデオを選択し、[] ボタンを押して再生します。
3. [] ボタンを押して終了します。

注意:

1. フロントカメラとリアカメラのビデオファイルは別々に保存されます。
2. フロントカメラのファイル名は年_月_日_*** F、リアカメラのファイル名は年_月_日_*** Rです。
3. 前後カメラのビデオ解像度は解像度メニューで設定できます。

■ 動体検知

動体検知機能とは、映像に動きがあった場合に自動的に録画を開始する機能です。

動体検知中、60秒間動きを検知しなかった場合、録画が停止し動体検知モードに入ります。

注意:

動体検知機能は駐車監視にのみ推奨され、運転中に「動体検知」機能がオンにすると、常時録画できない場合もあります。


■ コンピュータでビデオを再生する

1. 付属のミニUSBケーブルを使って、レコーダーをコンピューターに接続します。
2. レコーダーの電源がオンになり、画面に「SDカードリーダーモード」が表示されます。
3. 自動的にリムーバブルディスクとして認識されます。
4. DCIMフォルダは2つのフォルダがあります。
Movie（ループ録画ビデオファイル）
サブフォルダが含まれています: R0（保護された/ロックされたビデオファイル）
Photo（映像写真）
5. コンピューターに必要なファイルをコピーします。

■ テレビでビデオを再生する

AVケーブルでレコーダーをテレビに接続して、再生モードで再生します。AVケーブルは別売です。

■ 画像モード


A129ディスプレイには4つのリアルタイムプレビューモードがあり、[] ボタンを押して切り替えることができます。Wi-Fi接続して携帯でVIOFOアプリでプレビューできます。

注意:

画像（PIP）モードは、リアカメラが取り付けられている場合のみ使用可能です。

モード	説明
フロント+リア (リアカメラ画面が重なります)	フロントとリアの画面がLCDに表示され、リアカメラ画面が左上にあります。
リア+フロント (フロントカメラ画面が重なります)	フロントとリアの画面がLCDに表示され、フロントカメラ画面が左上にあります。
フロントのみ	フロント画面のみを表示
リアのみ	リア画面のみを表示

マイクをオン/オフにする

[MIC ] ボタンを押して、マイク機能をオンまたはオフにします。

■ ファームウェアを更新

弊社ホームページよりファームウェアソフトをダウンロードすることで、本製品のアップデートを行うことができます。

(<https://viofo.jp/support/>)

注意:

- ファームウェアを更新する前に、レコーダーでメモ리카ードをフォーマットすることをお勧めします。
- ファームウェアを更新する際、レコーダーの電源は切らないでください。更新に失敗し、起動できなくなる場合があります。

システム設定

カメラボタンまたはVIOFOアプリでシステム設定ができます。システム設定する前、録画をオフしてください。

• 解像度:

録画したビデオの解像度を設定します。

本機だけの解像度: 3840 x 2160P 30fps, 2560 x1440P 60fps, 2560 x1440P 30fps, 2304 x1296P 30fps, 1920 x1080P 120fps, 1920 x1080P 60fps, 1920 x1080P 30fps.
前後録画: 4K (フロントカメラ) + Full HD 30fps (リアカメラ), 1440P 30fps + FHD P30, 1080P 60fps + FHD P30.

• Bitrate:

ビデオのビットレートを設定できます。高ビットレートを使用すると、特に高速モーションや高コントラストのシーンを録画するときに、ビデオの画質と滑らかさが向上します。高ビットレートを使用すると、メモ리카ードで使用可能な録画時間が短くなる可能性があります。低ビットレートを使用すると、メモ리카ード容量を節約して長時間録画できます。

• Live Video Source:

フロントカメラ/リアカメラ/画像モード1 /画像モード2。

• ループ録画: 0/1/2/3/5/10分。

本機の電源をオンにすると、本機は自動的にループ録画を開始します。デフォルト設定は3分です。メモ리카ードがいっぱいになると、最も古いビデオファイルが自動的に上書きされます。

• WDR (ワイドダイナミックレンジ):

WDRをオンにすると、白とびや黒つぶれを補正した録画データを記録することができます。

• 露出: 映像の明るさ (光量調節) を調節できます。

露出値は-2.0から+2.0の範囲です。フロントカメラとリアカメラの露出値は別々に調整できます。デフォルト設定は0.0です。

• 先駆駐車モード:

レコーダーは3つの異なる駐車録画モードをサポートします:

① 自動イベント検出

バッファ付き駐車モードを含む、モニターの監視範囲内で動いている物体が感知されるとカメラは自動的にビデオシーケンスを録画する (イベントの15秒前から30秒まで) 新しい動きがなければ録画は停止します。

② タイムラプス録画

タイムラプス録画は1/2/3/5/10/15 fpsの低いフレームでビデオを録画し、タイムラプス録画は録音しません。

③ 低ビットレート録画

このモードでは、前後カメラが低ビットレートでビデオを録画します。オーディオを録画したまま、ミニファイルサイズで録画します。

注意: 駐車監視機能は電力を供給するのに長い時間を必要とします。バッテリーの消耗を避けるために、弊社のVIOFO HK3 ACC降圧ケーブルを購入することを勧めます。

「フロントカメラの駐車記録ファイル名は Year_Date_Time_**PP です。リアカメラのファイルが Year_Date_Time_**PR

• 駐車衝突検出: Gセンサーは大きな衝撃や突然の動きを検知し、イベントの記録を開始します。駐車モード録画では高感度に設定することをお勧めします。

• 駐車検出: 検出の感度を調整します。駐車モードでは、風や雨によるわずかな動きは録画は行われません。

• インターバル撮影:

低フレームレートでビデオを録画すると、メモリを節約し、ビデオの再生にかかる時間を短縮できます。デフォルト設定はオフです。

• 動体検知:

オンにすると、レコーダーの正面に動きがあった場合、自動的に録画を開始します。動体検知中、60秒間動きを検知しなかった場合、録画が停止し動体検知モードに入ります。


新しい動作が検出されると、レコーダーは再度録画を開始します。

- GPS: GPS機能のオン/オフを切り替えます。

GPSモジュールは、車速と位置情報を記録するために使用されます。オフ設定時、レコーダーは車両の速度と位置を記録せず、日時を自動的に同期しません。パソコン等でビデオを再生し、GPSの軌跡と速度を表示する場合は「Dashcam Viewer」プレーヤーを使用してください。

- 速度単位: キロメートル/時 (KMH) とマイル/時 (MPH)。
- 襲撃感度 (G-sensor):

Gセンサーは衝撃力を測定し、ループ録画の対象にならないようにファイルが自動的にロックされます。低く設定することをお勧めします。

- Wi-Fi: オン/オフを設定します [] ボタンを3-5秒長押ししてください。

5GHz Wi-Fiモードを選択することをお勧めします。

- 日付表示: 録画したビデオに時刻と日付を表示します。
- GPS情報スタンプ: 録画したビデオにGPS情報を表示します。
- モデル情報スタンプ: 録画ビデオにカメラモデルを表示します。
- 録画音声: マイクのオン/オフを切り替えます。

録音中にマイクボタン [] を押してマイクのオン/オフ変更ができます。

- スクリーンセーバー: 何の操作も行わないと1分後にデフォルトで画面が黒くなります。
- ブート遅延: 電源を入れると、起動時間を増やし、5 sと10 sの遅延起動することができます。
- 日/時刻: システムの日付/時刻を設定します。

- タイムゾーン: 現在のエリアタイムゾーンを設定します。(日本GMT+9:00)

注意: 手動で夏時間を調整しなければなりません。

- 言語: 各種言語に変更可能です。(英語、中国語、フランス語、日本語など)。
- 電子音: ボタンの操作音と電源オンの音をオンまたはオフにします。
- 明滅の頻度: 地域の使用電圧に応じて周波数を調整してください。(東日本50Hz / 西日本60Hz)

- 画像回転:

この機能をオンにすると、ホスト画面表示と録画ビデオが180度回転し、リア/内装カメラの画像が反転するように設定できます。

- リアカメラミラー:

この機能をオンにすると、リアカメラの画像が鏡像に映ります。

- フォーマット:

Micro SDカードのすべてのデータを削除します。

- 注意:

カードをフォーマットした後、すべての情報が削除され、回復することはできません。フォーマットする前に、必要なファイルをすべてバックアップしてください。

- フォーマット警告:

フォーマットリマインダーの間隔を設定します。(定期的にフォーマットすることでメモリーの寿命が長くなります)

- デフォルト設定:

デバイスを出荷時設定に復元します。

- ナンバープレート:

録画したビデオに車番号を表示します。


- ユーザー情報:

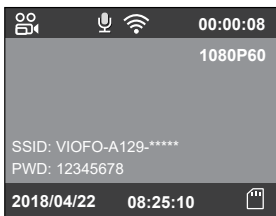
ユーザー情報をビデオで表示します。

- バージョン:


現在のファームウェアバージョンを表示します。

携帯でのプレビュー

VIOFOアプリを使用すると、レコーダーの映像をスマートフォンから確認できます。本体内の各種パラメータを設定する事も可能です。Wi-Fiがオンになっていると、レコーダーはAPPのみパラメータの変更を行うことができます。システム設定でWi-Fiをオンまたは [] ボタンを長押しします。Wi-Fiがオンになると、Wi-Fiアイコンと初期パスワードが画面に表示されます。



携帯でレコーダーを接続する

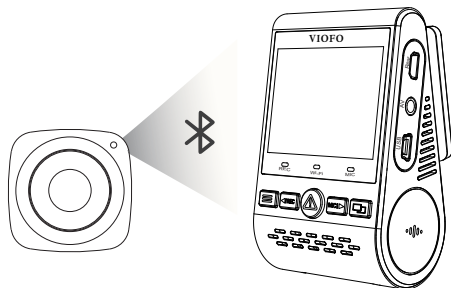
- Android携帯でGoogleストアまたiPhoneでApp Storeを開きます。
- VIOFO APPをダウンロードしてインストールします。
- VIOFO APPを起動します。
- システム設定でWi-Fiをオンまたは [] ボタンを長押しします。
- アプリのヒントに従ってレコーダーを接続してください。

Bluetoothリモコン

ハンドルなどの操作しやすい場所にBluetoothリモートコントロール（別売）を取り付けます。リモコンのボタンを押すと、カメラは現在のビデオファイルをロックしてビデオスナップショットを撮ります。

ドライブレコーダーとのペアリング

- レコーダーを電源に接続してオンにします
- リモコンのボタンを3秒以上押したまま、赤いライトが点滅するのを待ちます。
- ペアリングが成功すると、リモコンのLEDインジケータが青くなります。



注意事項

FCC声明

本機は、FCC規則第15章に定められたクラスBデジタルビデオカメラに関する規制要件に基づいて所定の試験が実施され、適合が認定されています。これらの規制要件は、一般住居での使用に際して有害な干渉を適切な範囲で防止することを目的としています。本機は電磁波を発生、使用し、外部に放射することがあります。取扱説明書に従わず設置および使用された場合は、無線通信に電波妨害を引き起こす可能性があります。しかしながら、この場合でなくても、特定の設置状況において電波障害を起こさないという保証はありません。本機の電源を切ったり入れたりとすることで、ラジオやテレビの受信に対する干渉を起こしていることが判明した場合には、ユーザーは以下に示す手段のいずれかもしくは複数を用いて干渉を改善することが望まれます。

- 受信アンテナの向きまたは場所を変える
- 本機と受信機の距離を離す
- 受信機が接続されている回路とは別の電源回路に本機を接続する
- 取扱店または技術者に相談する

FCC 警告:

本機はFCC規則第15章に準拠しています。本機の動作には、次の二つの条件を満たす必要があります: ①有害なノイズを発生させないこと。②誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

FCC注意事項: コンプライアンスに責任を負う者によって承認されていない変更もしくは改造を行った場合、本機を使用するためのユーザーの権限が無効になります。

※FCC (Federal Communications Commission: 連邦通信委員会) は、アメリカ合衆国の放送通信事業の規制監督を行う機関です。

カスタマーサービス



12ヶ月保証



support.jp@viofo.com



<https://www.facebook.com/viofo.japan>



+86 755 8526 8909 (CN)



営業時間: 月曜日から金曜日の午前9時から午後6時まで